

# 技術者交流フォーラム事業

Web配信(収録版)



留萌講演 (収録版)

第42回 技術者交流フォーラム事業 in留萌  
「道路ネットワーク等を利活用した道北留萌地域の将来のために」



小樽講演 (収録版)

第43回 技術者交流フォーラム事業 in小樽  
インフラの既存ストック活用と観光

視聴期間 2024/1/9 (火) 9時 ~ 1/22 (月) 17時

視聴無料、事前申込

・本フォーラムは、(公社)土木学会継続教育(CPD)プログラムに認定されています。  
※全体の認定単位の内、現地開催のフォーラム事業にご参加いただきCPD受講証明書を  
受領された分は、本Web配信と重複してCPD受講証明書を発行できませんので、事前申  
込及び認定団体への申請の際はご注意ください。裏面の注意事項もご確認ください。

認定番号：JSCE23-1515  
認定単位：5.0単位



本プログラムでは、7月27日留萌市中央公民館で開催の第42回技術者交流フォーラム事業in留萌、並びに9月20日小樽市民センターで開催の第43回技術者交流フォーラム事業in小樽で収録したものをWeb配信します。

## 【留萌：基調講演】

『人口減少社会における地域づくりと道路ネットワークの価値』 60分

北海学園大学 工学部  
北海学園大学大学院工学研究科建設工学専攻  
博士(工学)



教授 鈴木 聡 氏

《 基調講演の概要 》 2045年、北海道の人口は約400万人にまで減少すると予測されています。このような人口減少社会における地域づくりにおいて、道路ネットワークはどのような価値を有し、どのように貢献できるのでしょうか？本基調講演では、既存の主要3便益である走行時間短縮、走行経費減少、交通事故減少の価値に加えて、観光・物流・食・防災・定住などの様々な観点から、改めて道路ネットワークの価値を考えます。

## 【小樽：特別講演】

『小樽・後志における文化観光の可能性  
～歴史文化と地域資源を活かした広域観光～』 60分

小樽商科大学グローバル戦略推進センター 客員研究員  
博士(歴史民俗資料学)  
地域レジリエンス株式会社



代表取締役 高野 宏 康 氏

《 特別講演の概要 》  
近年、地域の歴史文化をその歴史的背景や内容を含め発信し、地域振興につなげる文化観光が注目されている。今回のフォーラムでは、北前船をはじめ小樽・後志の歴史文化と食などの地域資源を組み合わせた事例を紹介します。

お申し込みはこちら ▶

寒地土木研究所「イベント情報」

お申し込み期間：2023/11/28(火)9時～2024/1/19(金)12時



主催：  
(留萌) 国土交通省北海道開発局留萌開発建設部、国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所、公益社団法人日本技術士会北海道本部道北技術士委員会  
(小樽) 国土交通省北海道開発局小樽開発建設部、国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所、公益社団法人日本技術士会北海道本部

お問い合わせ先 国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所 (電話011-590-4046) E-mail forumweb-1@ceri.go.jp

【基調講演】



### [1] 『人口減少社会における地域づくりと道路ネットワークの価値』

北海学園大学 工学部  
北海学園大学大学院工学研究科建設工学専攻  
博士(工学)

約60分

教授 鈴木 聡 士 氏

【一般講演】



### [2] 『留萌管内における道路ネットワークを活用した取組事例』

留萌開発建設部 道路計画課 道路調査官 谷野 淳

約30分

留萌管内における道路ネットワークを活用した留萌開発建設部の取組等を紹介しします。



### [3] 『道北・留萌地域における災害に強い道路ネットワークを目指した維持管理』

公益社団法人日本技術士会 北海道本部 道北技術士委員会 菊田 寛

約30分

①留萌地域の現在の交通ネットワーク ②留萌地域の災害 ③道路の防災・減災・予防保全について  
④維持管理の現状と課題について 最近の取組みなど紹介しします。



### [4] 『暴風雪対策に関する寒地土木研究所の取り組み』

寒地土木研究所 雪氷チーム 主任研究員 原田 裕 介

約30分

暴風雪対策に関する寒地土木研究所の取り組みのうち、ソフト対策として吹雪情報、ハード対策として  
令和5年3月に公表した防雪柵および防雪林に関する技術資料案を中心に説明しします。

【特別講演】



### [5] 『小樽・後志における文化観光の可能性～歴史文化と地域資源を活かした広域観光～』

小樽商科大学グローバル戦略推進センター 客員研究員  
博士(歴史民俗資料学)  
地域レジリエンス株式会社

約60分

代表取締役 高野 宏 康 氏

【一般講演】



### [6] 『小樽港ふ頭再開発によるクルーズ振興』

小樽開発建設部 次長 斉藤 敦 志

約30分

小樽港における老朽化した既設岸壁の改良およびふ頭の再開発による、クルーズ振興・観光拠点  
づくりの取組を紹介しします。



### [7] 『観光の定義と実態、そして今後の展開』

公益社団法人日本技術士会 北海道本部  
社会活動委員会リージョナルスレート研究委員会 武山 泰 典

約30分

「観光」について「旅の目的」という視点から実態を分類し、インフラツーリズムの多様な展開をめざす  
とともに、新時代の先端技術も視野に入れたい。



### [8] 『「道の駅」を地域振興につなげるために必要なこと』

寒地土木研究所地域景観チーム 主任研究員 岩田 圭 佑

約30分

寒地土木研究所が進めている研究の中から、「道の駅」を地域振興につなげるための、魅力的な空間  
づくりと運営上のポイントについて紹介しします。

## (公社)土木学会継続教育(CPD) 認定に係る注意事項

・CPD受講証明書は①本フォーラムに参加の事前受付に登録された方、②本フォーラム聴講後から締切までの間に、CPD受講  
証明発行用アンケート(100文字以上の所見・感想等)に回答された方、③下の④に示すいずれかのパターンで必要となる  
収録動画のすべてを受講された方において、①～③のすべての要件を満たした方に発行しします。

④本フォーラムにおけるCPD受講 認定単位のパターンは、下記のように予定してあります。

A:「留萌講演・小樽講演[1]～[8]」のすべてを視聴された方 → 5.0 (※)

B:「留萌講演[1]～[4]」のすべてを視聴された方 → 2.5 (※)、C:「小樽講演[5]～[8]」のすべてを視聴された方 → 2.5 (※)

※任意の収録動画のみ受講の場合や、[A:留萌講演・小樽講演]・[B:留萌講演]・[C:小樽講演]のいずれにも該当しない受講をされた場  
合は、CPD受講 認定単位として認められないのでご注意ください。

(注意) 現地開催のフォーラム事業にご参加いただきCPD受講証明書を受領された分は、本Web配信と重複してCPD受講証明  
書を発行できませんので、事前申込及び認定団体への申請の際はご注意ください。